

注3

大学番号：386

届出

[平成22年度設置]

計画の区分：学部学科の設置

注1

京都外国語大学 外国語学部 国際教養学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 京都外国語大学
平成24年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1.	調査対象大学等の概要等	
(1)	設置者	1
(2)	大学名	1
(3)	大学の位置	1
(4)	管理運営組織	1
(5)	調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等	2
(5)-①	調査対象学部等の名称、定員	2
(5)-②	調査対象学部等の入学者の状況	2
(5)-③	調査対象学部等の在学者の状況	3
(5)-④	調査対象学部等の退学者等の状況	4
2.	授業科目の概要	
(1)	授業科目表	5
(2)	授業科目数	17
(3)	未開講科目	18
(4)	廃止科目	18
(5)	授業科目を未開講又は廃止としたことに係る 「大学の所見」及び「学生への周知方法」	18
(6)	「届出時の計画の授業科目数の計」に対する 「未開講科目と廃止科目の計」の割合	18
3.	施設・設備の整備状況、経費	19
4.	既設大学等の状況	20
5.	教員組織の状況	
(1)	担当教員表	21
(2)	専任教員数	45
(3)	専任教員辞任等の理由	46
(4)	専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	46
6.	留意事項に対する履行状況等	47
7.	その他全般的事項	
(1)	設置計画変更事項等	48
(2)	教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)	48
(3)	自己点検・評価等に関する事項	50
(4)	情報公表に関する事項	51

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 京都外国語大学

(2) 大学名

京都外国語大学

(3) 大学の位置

〒615-8558

京都府京都市右京区西院笠目町6番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(モリタ ヨシカヅ) 森田 嘉一 (昭和51年9月)		
学長	(ホリカワ テツシ) 堀川 徹志 (平成14年8月)	(マツダ タケシ) 松田 武 (平成22年8月1日)	平成22年7月31日任期満了に伴う交代 (23)
学部長	(クボ テツオ) 久保 哲男 (平成18年4月)	未配置	平成22年7月31日任期満了 (23)
学科長等	(クレイグ スミス) クレイグ・スミス (平成22年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
外国語学部 国際教養学科 学士(文学)	4年	60人	3年次 4人	248人	平成22・23年度の報告時に、編入学年次の記載がありませんでした。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成 年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 (-) [若干名]	—人 (-) [若干名]	60人 (-) [若干名]	—人 (-) [若干名]	60人 (4) [若干名]	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	—人 () []	1.21倍 平成22年度の報告時に、平成22年度志願者数、受験者数及び合格者数に、留学生(1名)が含まれていませんでした。()の編入学の数値については、[]内が3年次編入、< >内が2年次編入の数値を示す。	
志願者数	715人 (-) [1]	— (-) [-]	432人 (-) [0]	— (-) [-]	319人 ([1]<3>) [1]	— (-) [-]	— () []	— () []	— () []	— () []		
受験者数	700人 (-) [1]	— (-) [-]	423人 (-) [0]	— (-) [-]	315人 ([1]<3>) [1]	— (-) [-]	— () []	— () []	— () []	— () []		
合格者数	169人 (-) [1]	— (-) [-]	176人 (-) [0]	— (-) [-]	198人 ([1]<3>) [1]	— () [-]	— () []	— () []	— () []	— () []		
B 入学者数	75人 (-) [0]	— (-) [-]	65人 (-) [0]	— (-) [-]	79人 ([1]<2>) [1]	— (-) [-]	— () []	— () []	— () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	1.25		1.08		1.31							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] 75	[-] -	[0] 66	[-] -	[1] 80	[-] -	[]	[]	平成24年度の()の数値は、 編入学者の数で内数。
2年次	/		[0] 74	[-] -	[0] 70(2)	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[0] 68(1)	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	
計	[0] 75		[0] 140		[1] 218(3)		[]		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	75 人	3 人	平成22年度	0 人	0 人	他の教育機関への進路変更(2) 海外留学(1)	4 %
			平成23年度	3 人	0 人		
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	65 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	経済的困窮(1)	1.5 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	79 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		%
合 計	219 人	4 人					1.8 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<外国語学部 国際教養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
第2外国語基礎科目	基礎スペイン語	1前		2						
	スペイン語Ⅰ-1	1後		1						
	スペイン語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎フランス語	1前		2						
	フランス語Ⅰ-1	1後		1						
	フランス語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎ドイツ語	1前		2						
	ドイツ語Ⅰ-1	1後		1						
	ドイツ語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎ポルトガル語	1前		2						
	ポルトガル語Ⅰ-1	1後		1						
	ポルトガル語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎中国語	1前		2						
	中国語Ⅰ-1	1後		1						
	中国語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎イタリア語	1前		2						
	イタリア語Ⅰ-1	1後		1						
	イタリア語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎アラビア語	1前		2						
	アラビア語Ⅰ-1	1後		1						
	アラビア語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎オランダ語	1前		2						
	オランダ語Ⅰ-1	1後		1						
	オランダ語Ⅰ-2	1後		1						
	基礎コリア語	1前		2						
	コリア語Ⅰ-1	1後		1						
コリア語Ⅰ-2	1後		1							
基礎ロシア語	1前		2							
ロシア語Ⅰ-1	1後		1							
ロシア語Ⅰ-2	1後		1							
小計(30科目)		—	0	40	0	0	0	0	0	
第2外国語研究科目	スペイン語1(2言語同時学習ES)*	2前		2						
	スペイン語2(2言語同時学習ES)*	2後		2						
	スペイン語Ⅱ-1	2前		1						
	スペイン語Ⅱ-2	2前		1						
	スペイン語Ⅲ-1	2後		1						
	スペイン語Ⅲ-2	2後		1						
	フランス語1(2言語同時学習EF)*	2前		2						
	フランス語2(2言語同時学習EF)*	2後		2						
	フランス語Ⅱ-1	2前		1						
	フランス語Ⅱ-2	2前		1						
	フランス語Ⅲ-1	2後		1						
	フランス語Ⅲ-2	2後		1						
	ドイツ語1(2言語同時学習EG)*	2前		2						
	ドイツ語2(2言語同時学習EG)*	2後		2						
	ドイツ語Ⅱ-1	2前		1						
	ドイツ語Ⅱ-2	2前		1						
	ドイツ語Ⅲ-1	2後		1						
	ドイツ語Ⅲ-2	2後		1						
ポルトガル語1(2言語同時学習EP)*	2前		2							
ポルトガル語2(2言語同時学習EP)*	2後		2							

*の「2言語同時学習」は、英語を基軸に同一内容の教材を用いて同時に二言語を学ぶ科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
第2外国語研究科目	ポルトガル語Ⅱ-1	2前		1							
	ポルトガル語Ⅱ-2	2前		1							
	ポルトガル語Ⅲ-1	2後		1							
	ポルトガル語Ⅲ-2	2後		1							
	中国語1 (2言語同時学習EC) *	2前		2							
	中国語2 (2言語同時学習EC) *	2後		2							
	中国語Ⅱ-1	2前		1							
	中国語Ⅱ-2	2前		1							
	中国語Ⅲ-1	2後		1							
	中国語Ⅲ-2	2後		1							
	イタリア語1 (2言語同時学習EI) *	2前		2							
	イタリア語2 (2言語同時学習EI) *	2後		2							
	イタリア語Ⅱ-1	2前		1							
	イタリア語Ⅱ-2	2前		1							
	イタリア語Ⅲ-1	2後		1							
	イタリア語Ⅲ-2	2後		1							
	アラビア語Ⅱ-1	2前		1							
	アラビア語Ⅱ-2	2前		1							
	アラビア語Ⅲ-1	2後		1							
	アラビア語Ⅲ-2	2後		1							
	オランダ語Ⅱ-1	2前		1							
	オランダ語Ⅱ-2	2前		1							
	オランダ語Ⅲ-1	2後		1							
	オランダ語Ⅲ-2	2後		1							
	コリア語Ⅱ-1	2前		1							
	コリア語Ⅱ-2	2前		1							
	コリア語Ⅲ-1	2後		1							
	コリア語Ⅲ-2	2後		1							
	ロシア語Ⅱ-1	2前		1							
	ロシア語Ⅱ-2	2前		1							
ロシア語Ⅲ-1	2後		1								
ロシア語Ⅲ-2	2後		1								
小計 (52科目)		—	0	64	0	0	0	0	0	0	
第3外国語科目	タイ語Ⅰ	2・3前		1							
	タイ語Ⅱ	2・3後		1							
	ベトナム語Ⅰ	2・3前		1							
	ベトナム語Ⅱ	2・3後		1							
	インドネシア語Ⅰ	2・3前		1							
	インドネシア語Ⅱ	2・3後		1							
	インド語Ⅰ	2・3前		1							
	インド語Ⅱ	2・3後		1							
	トルコ語Ⅰ	2・3前		1							
	トルコ語Ⅱ	2・3後		1							
	ギリシア語Ⅰ	2・3前		1							
	ギリシア語Ⅱ	2・3後		1							
	ラテン語Ⅰ	2・3前		1							
	ラテン語Ⅱ	2・3後		1							
	小計 (14科目)		—	0	14	0	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
全学共通基礎科目	情報技術の実践	1前	2							
	健康を考える	1前		2						
	健康生活の営み	1後		2						
	論理的文章の読解	1前		2						
	論理的文章の作成	1後		2						
	日本語を知る	1前		2						
	日本語を問う	1後		2						
	世界の諸宗教	1前		2						
	人類学を学ぶ	1前		2						
	ヒト・社会・文化	1後		2						
	考古学を学ぶ	1前		2						
	考古学の今	1後		2						
	民俗学を学ぶ	1前		2						
	民衆と伝承	1後		2						
	地理学を学ぶ	1前		2						
	日本史の見方	1前		2						
	日本史に学ぶ	1後		2						
	世界史の見方	1前		2						
	世界史に学ぶ	1後		2						
	欧米の歴史	1前		2						
	欧米の文化	1後		2						
	アジアの歴史	1前		2						
	アジアの文化	1後		2						
	現代社会の見方	1前		2						
	現代と社会	1後		2						
	ジェンダーを考える	1前		2						
	ジェンダーと社会	1後		2						
	メディアと言語	1前		2						
	メディアと社会	1後		2						
	同和教育と人権	1前		2						
	多文化理解と人権	1後		2						
	政治学の基礎	1前		2						
	政治学と現代	1後		2						
	国際政治学の基礎	1前		2			1			
	国際政治学を学ぶ	1後		2			1			
	ミクロ経済の基礎	1前		2						
	マクロ経済の基礎	1後		2						
	法学を学ぶ	1前		2						
	法と社会	1後		2						
	日本国憲法 1	1前		2						
日本国憲法 2	1後		2							
国際法の仕組み	1前		2							
国際法の課題	1後		2							
情報数学	1前		2							
数学に親しむ	1前		2							
数学を知る	1後		2							
人間行動学	1前		2							
自然を知る	1前		2							
自然を考える	1後		2							
生命の仕組み	1前		2							
生命の成り立ち	1後		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
全学共通基礎科目	宇宙の科学	1前		2							
	地球の科学	1後		2							
	言語の仕組み	1前		2							
	言語の成り立ち	1後		2							
	芸術に親しむ	1前		2							
	芸術と社会	1後		2							
	キャリアデザインを考える	1前・後		2			1				平成23年度 キャリアベーシックに科目名称変更(23)
	キャリアベーシック	1後		2			1				平成24年度科目名称を変更し、全学共通研究科目から移行(24)
生涯学習概論	1前・後		2							平成24年度教育課程の充実を図るため科目を追加(24)	
災害ボランティア	1～4		2								
小計 (5-8 60科目)	—	2	116 118	0	0	3	0	0	0		
全学共通研究科目	民主政治と現代社会Ⅰ	2前		2							
	民主政治と現代社会Ⅱ	2後		2							
	財政の仕組みⅠ	2前		2							
	財政の仕組みⅡ	2後		2							
	金融の仕組みⅠ	2前		2							
	金融の仕組みⅡ	2後		2							
	国際経済の仕組み	2前		2							
	国際経済と日本	2後		2							
	国際政治史Ⅰ	3前		2			1				
	国際政治史Ⅱ	3後		2			1				
	国際経済史Ⅰ	3前		2							
	国際経済史Ⅱ	3後		2							
	経済原論Ⅰ	3前		2							
	経済原論Ⅱ	3後		2							
	国際社会と地域1(欧州)Ⅰ	2春		2							
	国際社会と地域1(欧州)Ⅱ	2秋		2							
	国際社会と地域2(ロシア東欧)Ⅰ	2春		2							
	国際社会と地域2(ロシア東欧)Ⅱ	2秋		2							
	国際社会と地域3(北米)Ⅰ	2春		2							
	国際社会と地域3(北米)Ⅱ	2秋		2							
	国際社会と地域4(南北問題)Ⅰ	2春		2							
	国際社会と地域4(南北問題)Ⅱ	2秋		2							
	国際社会と地域5(アジア)Ⅰ	2春		2							
	国際社会と地域5(アジア)Ⅱ	2秋		2							
	国際経済と地域1(欧米)Ⅰ	2前		2							
	国際経済と地域1(欧米)Ⅱ	2後		2							
	国際経済と地域2(途上国)Ⅰ	3前		2							
	国際経済と地域2(途上国)Ⅱ	3後		2							
	現代文明論Ⅰ	2前		2							
	現代文明論Ⅱ	2後		2							
	国際関係研究ゼミⅠ	3前		2							
	国際関係研究ゼミⅡ	3後		2							
	国際関係研究ゼミⅢ	4前		2							
	国際関係研究ゼミⅣ	4後		2							
	宗教と人間Ⅰ	2前		2							
	宗教と人間Ⅱ	2後		2							
	スポーツ文化論Ⅰ	2前		2							
	スポーツ文化論Ⅱ	2後		2							
	キリスト教世界の思想と社会	2前		2							
	イスラム世界の思想と社会	2後		2							
ヨーロッパの美術Ⅰ	2前		2								
ヨーロッパの美術Ⅱ	2後		2								
ヨーロッパの哲学Ⅰ	2前		2								
ヨーロッパの哲学Ⅱ	2後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備 考
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	
全学共通研究科目	科学技術と人間Ⅰ	2前		2						
	科学技術と人間Ⅱ	2後		2						
	書物と地域	3前		2						
	東西文化の交流Ⅰ	2前		2						
	東西文化の交流Ⅱ	2後		2						
	多文化理解とコミュニケーション	2後		2						
	日欧の交流Ⅰ	2前		2						
	日欧の交流Ⅱ	2後		2						
	地中海文化の展開	3前		2						
	ヨーロッパの歴史と思想Ⅰ	2前		2						
	ヨーロッパの歴史と思想Ⅱ	2後		2						
	日本の文化と歴史Ⅰ	2前		2						
	日本の文化と歴史Ⅱ	2後		2						
	中東の歴史Ⅰ	2前		2						
	中東の歴史Ⅱ	2後		2						
	現代日本社会と伝統文化Ⅰ	2前		2						
	現代日本社会と伝統文化Ⅱ	2後		2						
	日本の近代	3前		2						
	世界の地誌	3前		2						
	地域文化研究ゼミⅠ	3前		2						
	地域文化研究ゼミⅡ	3後		2						
	地域文化研究ゼミⅢ	4前		2						
	地域文化研究ゼミⅣ	4後		2						
	情報コミュニケーション技術の活用Ⅰ	2前		2						
	情報コミュニケーション技術の活用Ⅱ	2後		2						
	資格情報処理Ⅰ	2前		2						
	資格情報処理Ⅱ	2後		2						
	メディア文化論Ⅰ	2前		2						
	メディア文化論Ⅱ	2後		2						
	情報社会論	2前		2						
	調査・統計の基礎	2後		2						
	比較情報産業Ⅰ	2前		2						
	比較情報産業Ⅱ	2後		2						
	映像メディアの制作	3前		2						
	マルチメディアの制作	3後		2						
	情報倫理	3前		2						
	社会調査Ⅰ	3前		2						
	社会調査Ⅱ	3後		2						
	貿易への視点	2前		2						
	貿易の仕組み	2後		2						
	外国為替の仕組みⅠ	2前		2						
	外国為替の仕組みⅡ	2後		2						
	簿記会計の仕組みⅠ	2前		2						
	簿記会計の仕組みⅡ	2後		2						
消費生活と商品Ⅰ	2前		2							
消費生活と商品Ⅱ	2後		2							
現代とビジネスⅠ	2前		2							
現代とビジネスⅡ	2後		2							
消費者と法律	2前		2							
経済活動と法律	2後		2							
貿易の実務Ⅰ	3前		2							
貿易の実務Ⅱ	3後		2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
全学共通研究科目	経営情報システムⅠ	3前		2							平成24年度科目名称を変更し、全学共通基礎科目に移行(24)
	経営情報システムⅡ	3後		2							
	現代日本の経営Ⅰ	3前		2							
	現代日本の経営Ⅱ	3後		2							
	企業倫理	3前		2							
	マネジメント論	3後		2							
	組織論	3前		2							
	教育の課題Ⅰ	2前		2							
	教育の課題Ⅱ	2後		2							
	生涯教育	2前・後	2								
	学習と行動Ⅰ	2前		2							
	学習と行動Ⅱ	2後		2							
	学校教育研究	2前		2							
	都市と環境Ⅰ	2前		2							
	都市と環境Ⅱ	2後		2							
	日本の生活環境	2前		2							
	生活空間の科学	2後		2							
	現代生活と健康	2前		2							
	健康とスポーツ	2後		2							
	スポーツの科学	2前		2							
	スポーツマネジメント	2後		2							
	福祉の課題	2前		2							
	福祉とボランティア	2後		2							
	青少年の行動と心理	3後		2							
	教育研究	3後		2							
	教育研究ゼミⅠ	4前		2							
	教育研究ゼミⅡ	4後		2							
	憲法Ⅰ	3前		2							
	憲法Ⅱ	3後		2							
	生物と環境	3前		2							
	生命と科学	3後		2							
	現代社会研究ゼミⅠ	3前		2							
	現代社会研究ゼミⅡ	3後		2							
	現代社会研究ゼミⅢ	4前		2							
	現代社会研究ゼミⅣ	4後		2							
	キャリア開発Ⅰ	2前		2			1				
	キャリア開発	2前		2			1				
	異文化間就業力開発	2前		2			1				
	キャリア開発Ⅱ	2後		2			1				
	リサーチ・デザイン	2前・後		2			1				
サービス・マーケティング	2前・後		2			1					
イベント・プランニング	2前		2			1					
知財マネジメント	2後		2			1					
アカウンティング	2後		2								
キャリア形成Ⅰ	3前		2			1					
キャリア形成Ⅱ	3後		2			1					
論文作成入門Ⅰ	2前		2								
論文作成入門Ⅱ	2後		2								
特殊研究Ⅰ	3前		2								
特殊研究Ⅱ	3後		2								
京都文化論Ⅰ	2前		2								
京都文化論Ⅱ	2後		2								
日本語表現研究Ⅰ	3前 2前		2								
日本語表現研究Ⅱ	3後 2後		2								
日本語教授法Ⅰ	3前 2前		2								
日本語教授法Ⅱ	3後 2後		2								
プロジェクト科目	3前 2前・後		2								
小計 (142 - 144 - 150 - 149科目)	—	0	284 288 300 298	0	0	11 5	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
保健体育科目	健康科学の実践Ⅰ－1	1前		1							
	健康科学の実践Ⅰ－2	1後		1							
	健康科学の実践Ⅱ－1	2前		1							
	健康科学の実践Ⅱ－2	2後		1							
	健康科学の実践Ⅲ－1	3前		1							
	健康科学の実践Ⅲ－2	3後		1							
	健康科学の実践Ⅳ－1	4前		1							
	健康科学の実践Ⅳ－2	4後		1							
	小計（8科目）	—	0	8	0	0	0	0	0	0	
総合科目	言語と平和Ⅰ	1前	2				1				
	言語と平和Ⅱ	1後	2			1	1				兼任 布施将夫(講師)(24)
		小計（2科目）	—	4	0	0	0 1	2	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	国際コミュニケーションⅠ	1前	2			1	1				専任 藤倉なおこ(准教授)(24)
	国際コミュニケーションⅡ	1後	2					1			
	多文化理解とコミュニケーション論	1前	2								
	多文化共生論	1後	2						1		
	文化研究概説	1前	2						1		
	環境問題概説	1後	2								
	小計(6科目)	—	12	0	0	0 1	1	3	0	0	
専門演習科目	(日本語を母語とする学生対象)										平成22年度 他学科の授業科目と区別するため授業科目名称に番号を付記(22) } 担当者が准教授昇格のため(24) } 担当者が准教授昇格のため(24)
	Basic English Seminar I	1前	1						1		
	Basic English Seminar II	1後	1						1		
	Communication Workshop I	1前	1			1			1		
	Communication Workshop II	1後	1			1			1		
	Reading and Writing Skills I	1前	1								
	Reading and Writing Skills II	1後	1								
	Media English I-1	1前	1			1					
	Media English II-1	1後	1			1					
	Practical English Seminar I	2前	1			1	1	1	2		
	Practical English Seminar II	2後	1			1	1	1	2		
	Communication Workshop III	2前	1			1			1		
	Communication Workshop IV	2後	1			1			1		
	Practical English Seminar III	3前	1			1	1	1	2		
	Practical English Seminar IV	3後	1			1	1	1	2		
	Communication Workshop V	3前	1			1			1		
Communication Workshop VI	3後	1			1			1			
小計(16科目)	—	16	0	0	12	0 4	16 12	0	0		
専門研究科目	[国際地域領域]										兼任 宮原暁(講師)(24) 兼任 高島知佐子(講師)(24)
	◆現代国際事情Ⅰ	1前		2			1				
	◆現代国際事情Ⅱ	1後		2			1				
	◆日本の地理概説	1前		2							
	◆世界の地理概説	1後		2							
	◆日本文化事情Ⅰ	1前		2				1			
	◆日本文化事情Ⅱ	1後		2				1			
	◆現代北米地域事情Ⅰ	2前		2		1	1				
	◆現代北米地域事情Ⅱ	2後		2		1	1				
	◆現代ヨーロッパ地域事情Ⅰ	2前		2							
	◆現代ヨーロッパ地域事情Ⅱ	2後		2							
	◆現代アジア地域事情Ⅰ	2前		2							
	◆現代アジア地域事情Ⅱ	2後		2							
	◆現代中東・アフリカ地域事情Ⅰ	2前		2							
	◆現代中東・アフリカ地域事情Ⅱ	2後		2							
	◆現代ラテンアメリカ地域事情Ⅰ	2前		2							
	◆現代ラテンアメリカ地域事情Ⅱ	2後		2							
	◆Contemporary Society I-1	2前		2		1					
	◆Contemporary Society I-2	2後		2		1					
	◆Cross-Cultural Studies I	2前		2				1			
	◆Cross-Cultural Studies II	2後		2				1			
	◆Literature and Art I-1	2前		2							
	◆Literature and Art I-2	2後		2							
	◆比較文化論Ⅰ	3前		2					1		
	◆比較文化論Ⅱ	3後		2					1		
	◆文化政策マネジメントⅠ	3前		2					1		
◆文化政策マネジメントⅡ	3後		2					1			

※ ◆を付した授業科目は、学科間開放科目を示す。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門 研究 科目	選択 A	◆Destination Studies I	3前		2							
		◆Destination Studies II	3後		2							
		◆Contemporary Society II-1	3前		2				+		兼任 ジェフリー・パーグランド (教授) (24)	
		◆Contemporary Society II-2	3後		2				+			
		◆Intercultural Communication in Practice I	3前		2					+		
		◆Intercultural Communication in Practice II	3後		2					+		
		◆Literature and Art II-1	3前		2							
		◆Literature and Art II-2	3後		2							
		[国際関係領域]										
		◆国際関係の仕組み I	2前		2		1					
		◆国際関係の仕組み II	2後		2		1					
		◆国際貢献 I	2前		2		1					
		◆国際貢献 II	2後		2		1					
		◆NGOとNPO活動入門	2前		2		2					
		◆国際機構と開発援助	2後		2		1					
		◆現代外交 I	2前		2			1				
		◆現代外交 II	2後		2			1				
		◆International Relations I-1	2前		2		1					
		◆International Relations I-2	2後		2		1					
		◆Peace Studies I-1	2前		2		1					
		◆Peace Studies I-2	2後		2		1					
		◆国際平和協力論 I	3前		2		1					
		◆国際平和協力論 II	3後		2		1					
		◆平和構想論	3前		2		1					
		◆地球環境論	3後		2							
		◆International Relations II-1	3前		2		1					
		◆International Relations II-2	3後		2		1					
		◆Peace Studies II-1	3前		2		1					
		◆Peace Studies II-2	3後		2		1					
		[国際ビジネス領域]										
		◆国際ビジネス入門	2前		2			1				
		◆コミュニティビジネス	2後		2							
		◆ホスピタリティ論	2前		2							
		◆観光ビジネス概論	2後		2							
		◆ビジネス教養演習 1	2前		2							
		◆ホテルビジネス概論	2後		2							
		◆ビジネス教養演習 2	2後		2							
		◆English for Interpreters & Guides I	2前		2			1		+		} 担当者が准教授 昇格のため(24)
		◆English for Interpreters & Guides II	2後		2			1		+		
		◆International Business and Management I-1	2前		2							
		◆International Business and Management I-2	2後		2							
		◆English for Service Industry I	2前		2			1		+		} 担当者が准教授 昇格のため(24)
◆English for Service Industry II	2後		2			1		+				
◆国際ビジネス研究 I	3前		2									
◆国際ビジネス研究 II	3後		2									
◆航空ビジネス概論	3前		2			1						
◆ビジネス教養演習 3	3前		2									
◆ビジネス教養演習 4	3後		2									
◆English for Interpreters & Guides III	3前		2			1		+		} 担当者が准教授 昇格のため(24)		
◆English for Interpreters & Guides IV	3後		2			1		+				
◆International Business and Management II-1	3前		2									
◆International Business and Management II-2	3後		2									
国際教養ゼミ I	4前		2		2	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門 研究 科目	国際教養ゼミⅡ	4後		2		2	1				
	ワークショップ a (研究指導)	4前					1				
	ワークショップ b (研究指導)	4後					1				
	小計 (80科目)	—	0	156	0	24	12 18	18 6	0	0	
	海外留学	2・3		4							
	海外インターンシップ	2・3		4							
	国際ボランティア	2・3		4							
	フィールドワーク	2・3		4							
	小計 (4科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	
	卒業選択	卒業研究又は卒業論文	4	4			2	2			
	小計 (1科目)	—	4	0	0	2	2	0	0	0	
合計 (413 415 421 422科目)		—	38	696 700 712 714	0	3	2 3	3 2	0	0	

学位又は称号	学士（文学）	学位又は学科の分野	文学関係
教 育 課 程 の 編 成 方 針			
<p>国際教養学科は、建学の精神「言語を通して世界の平和を」の実現に向け、文化人類学的な知見を基に、地域の文化や社会についての総合的な教育研究を行い、国際社会において活動するために必要な幅広い知識と実践的なスキルを身につけさせることを目的とする。教育課程では、異なる文化を背景とする人々と共生、協調、協働するという視点から、「国際地域」「国際関係」「国際ビジネス」の領域を設定し、それらに係る科目を相互に関連させ、体系的に英語と日本語で学ぶ。現代の国際社会に関わる諸問題を多角的な視点でとらえ、物事の本質を見極める力、高度な英語運用力、加えて長年積み上げてきた本学の外国語における教育研究を活かし、英語以外の言語によるコミュニケーション能力を養う教育課程を編成する。これらを実現するための工夫として、①少人数教育、②習熟度別授業のクラス編成、③マルチメディアの活用、④ネイティブ教員による充実した実践授業、⑤専門性や経験知を組み合わせるオムニバス方式の授業導入、⑥GPA評価等による厳格な成績評価の実施、⑦国際ボランティアや海外インターンシップなどの体験活動を重視し、「学び」と「実践」を融合した教育を展開する。</p> <p>また、1日7講時制と半期で授業が完結するセメスター制度により、3つの領域を横断的に履修できるプログラムが組めるようにする。</p>			
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法		授業期間等	
<p>[日本語を母語とする学生対象]</p> <p>総合科目 4単位</p> <p>専門教育科目 専門基礎科目 12単位</p> <p>専門演習科目 16単位</p> <p>専門研究科目 38単位※</p> <p>全学共通研究科目 12単位※</p> <p>第2外国語研究科目 4単位※</p> <p>学科間開放科目（注2） - ※</p> <p>卒業選択 4単位</p> <p>教養教育科目 全学共通基礎科目（注3） 8単位※</p> <p>第2外国語基礎科目 4単位</p> <p>第3外国語科目（注4） - ※</p> <p>保健体育科目 - ※</p> <p>重点履修科目（注1） 22単位</p> <p>合計 124単位</p> <p>注1：重点履修科目は、専門・教養教育科目の中で※印を付記した科目区分の必要単位数を超えて修得した単位を算入する。</p> <p>注2：学科間開放科目は、所属学科以外の学科の専門科目の中で◆印を付記した授業科目を修得する場合の科目区分である。</p> <p>注3：全学共通基礎科目の中で、情報科目の2単位を必修とする。</p> <p>注4：英語と第2外国語基礎科目で履修する外国語以外に、第3以上の外国語を修得する場合の科目区分である。</p> <p>（履修科目の年間登録単位数の上限は48単位とし、2年次以降はGPA評価により40単位とする。）</p>		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週
		1 時限の授業時間	90 分
<p>[外国人留学生対象]</p> <p>総合科目 4単位</p> <p>専門教育科目 専門基礎科目 12単位</p> <p>専門演習科目 16単位</p> <p>専門研究科目 38単位※</p> <p>全学共通研究科目 12単位※</p> <p>第2外国語研究科目（注2） 4単位※</p> <p>学科間開放科目（注3） - ※</p> <p>卒業選択 4単位</p> <p>教養教育科目 全学共通基礎科目（注4） 8単位※</p> <p>第2外国語基礎科目（注2） 4単位</p> <p>第3外国語科目（注5） - ※</p> <p>保健体育科目 - ※</p> <p>重点履修科目（注1） 22単位</p> <p>合計 124単位</p> <p>注1：重点履修科目は、専門・教養教育科目の中で※印を付記した科目区分の必要単位数を超えて修得した単位を算入する。</p> <p>注2：第2外国語基礎科目と第2外国語研究科目の4単位は、日本語学科の第1外国語科目の中から授業科目を選択する。</p> <p>注3：学科間開放科目は、所属学科以外の学科の専門科目の中で◆印を付記した授業科目を修得する場合の科目区分である。</p> <p>注4：全学共通基礎科目の中で、情報科目の2単位を必修とする。</p> <p>注5：英語と第2外国語基礎科目で履修する外国語以外に、第3以上の外国語を修得する場合の科目区分である。</p> <p>（履修科目の年間登録単位数の上限は48単位とし、2年次以降はGPA評価により40単位とする。）</p>			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
26	387	0	413	26	396	0	422	
				[0]	[9]	[0]	[9]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	地理学を学ぶ	2	1	一般	選択	担当教員の退職・後任を公募中
2	世界の地誌	2	2	一般	選択	担当教員の退職・後任を公募中
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	生涯教育	2	2	一般	選択	科目名称を変更して同様の科目を開講
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、平成25年度開講に向けて担当教員を募集している。学生への周知については、授業科目時間割表に未開講の旨を明記し、授業科目オリエンテーションで徹底している。
 廃止科目については、「生涯学習概論」として科目名称を変更し、全学共通研究科目から全学共通基礎科目に区分変更して開講している。学生への周知については単位修得要領に明記し、授業科目オリエンテーションで徹底している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{3}{413} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	京都外国語短期大学と 共用 運動場用地は校舎敷地 と別地 ①徒歩2分、0.15km ②徒歩5分 0.3km ③バス30分 12km		
	校舎敷地	8,178㎡	18,223㎡	744㎡	27,145㎡			
	運動場用地	22,560㎡	4,120㎡	5,781㎡	32,461㎡			
	小 計	30,738㎡	22,343㎡	6,525㎡	59,606㎡			
	そ の 他	5,901㎡	0㎡	0㎡	5,901㎡			
	合 計	36,639㎡	22,343㎡	6,525㎡	65,507㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	京都外国語短期大学と 共用			
	31,042㎡ (31,042㎡)	448㎡ (448㎡)	2,912㎡ (2,912㎡)	34,402㎡ (34,402㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	講義室及び演習室以外は、京 都外国語短期大学と共用 演習室のうち1室は、日本語教 員養成推進室に、もう1室は、 倉庫に変更(23) 補助業務増加のため増員(23) 業務移管に伴う増員(24)		
	70室	20室 22室	0室	5室 (補助職員6人) (補助職員4人)	6室 (補助職員4人) (補助職員3人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	外国語学部 国際教養学科			8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 (図書) 503,000 [266,000] 535,047 [281,363] 528,104 [276,220] 496,172 [264,472] (学術雑誌) 4,057 [1,444] (4,058 [1,438]) 4,002 [1,440] 4,041 [1,436] (電子ジャーナル) 2,232 [2,232] (2,181 [2,181]) (2,178 [2,178]) (2,232 [2,232]) (京都外国語短期大学と共用) 視聴覚資料は、京都外国語大学・ 京都外国語短期大学共用 教育研究活動を一層の充実のため、 当初予定より多くを購入した(23)	
		[うち外国書]	[うち外国書]					電子ジャーナル
	冊	種	[うち外国書]					
	国際教養学科	21,600[8,090] (21,585[7,986]) (21,042[7,832]) (20,558[7,690])	210[85] (207[83]) (202[81]) (198[79])	153[153] (242[242]) (244[244])	26,100 (26,177) (25,744) (25,205)	2,363 (2,185) (2,674) (2,406)		480 (480)
計	21,600[8,090] (21,585[7,986]) (21,042[7,832]) (20,558[7,690])	210[85] (207[83]) (202[81]) (198[79])	153[153] (242[242]) (244[244])	26,100 (26,177) (25,744) (25,205)	2,363 (2,185) (2,674) (2,406)	480 (480)		
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		書庫及び書架を増設(23) 学生の利便性向上のため増席 (23)		
	3,205㎡ 3,035㎡		550席 545席	約720,000冊 約700,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				京都外国語短期大学と 共用	
	1,765㎡		グラウンド・テニスコート・バレーコート・弓道場等					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体 図書費には、電子ジャー ナル、データベースの整 備費(運用コストを含む) を含む
		教員1人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	41,700千円	42,700千円	
	共 同 研 究 費 等	4,000千円	12,000千円 4,000千円	設備購入費	21,000千円	21,000千円	21,000千円	共同研究費等は、研究 体制充実のため増額 (23)
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,420千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入：入学検定料収入・証明手数料収入 補助金収入：国庫補助金収入・地方公共団体補助金 資産運用収入：利息収入・施設利用収入						

(注)・届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	京都外国語大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
外国語学部	年	人	年次 人	人		倍			
英米語学科	4	355	3年次 70	1,599	学士 (文学)	1.26	昭和 34年度	京都府京都市 右京区西院 笠目町6番地	
スペイン語学科	4	64	3年次 3	272	学士 (文学)	1.27	昭和 38年度		
フランス語学科	4	60	3年次 3	246	学士 (文学)	1.22	昭和 41年度		
ドイツ語学科	4	60	3年次 3	246	学士 (文学)	1.27	昭和 42年度		
ポルトガル語学科	4	60	3年次 3	246	学士 (文学)	1.21	昭和 42年度		
中国語学科	4	64	3年次 12	290	学士 (文学)	1.29	昭和 49年度		
日本語学科	4	60	3年次 8	261	学士 (文学)	1.23	平成 4年度		
イタリア語学科	4	60	3年次 3	246	学士 (文学)	1.24	平成 16年度		
国際教養学科	4	60	3年次 4	184	学士 (文学)	1.21	平成 22年度		
大学の名称	京都外国語短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
キャリア英語科	2	140	—	280	短期大学士 (英語)	0.65	昭和 25年度	京都府京都市 右京区西院 笠目町6番地	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
3	2	3				3	3	2				
(2)	(1)	(2)	()	()	()	[]	[1]	[Δ1]	[]	[]	[]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由 (該当なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (H24年 5 月)	外国語学部中国語学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成24年度入学者は、入学定員64名に対し、入学者75名(入学定員超過率1.17)で、過去4年間平均の入学定員超過率も1.29まで是正することができた。平成25年度についても、是正に努める。	
設置計画履行状況 調 査 時 (H24年 5 月)	京都外国語短期大学キャリア英語科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについても検討すること。	平成24年度入学者を確保すべく、コースの再編成、帰国・渡日生教育プログラム及び長期履修制度を導入した。また、特に近畿圏の高等学校を重点的に訪問し、広報に努めた。結果、志願者数は増加し、入学者数も前年度比136%の106名(定員充足率0.75倍)となった。平均の入学定員充足率は0.65倍であるが、今後も高等学校に直接出向き、夜間課程の短期大学を必要とする受験生を掘り起こしていきたい。なお、入学定員の見直しについても並行して検討を進める。	
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<外国語学部 国際教養学科>

(1) 設置計画変更事項等 (特になし)

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学則第20条(本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする)に基づき、本学の教育活動の質的向上と発展を図るため、FD特別委員会を2008年4月に設置(名称変更:2012年4月)している。

平成23年度の委員は、教員が11名、職員5名で構成されている。
(「京都外国語大学FD委員会規程」(平成20年3月22日制定)を添付)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

年間6回(4/28・6/9・7/21・10/6・1/12・2/29)の委員会を開催した。教授会等の会議日程に合わせて実施しており、公務または病気以外での欠席はない。

c 委員会の審議事項等

- ・ 全学のFD活動の企画・実施に関する事項
- ・ 全学のFD活動の評価に関する事項
- ・ 学科等が行うFD活動の支援に関する事項
- ・ 授業評価アンケートの実施に関する事項
- ・ 授業評価アンケート結果の管理・フィードバックに関する事項
- ・ FD活動及び授業評価アンケートに関する情報の収集と提供
- ・ FD活動に関連する他の委員会等との連携に関する事項
- ・ その他、FD活動及び授業評価アンケートに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 学外での合宿形式による専任教員研修会
- ・ 学内でのポスターセッション
- ・ 学科別の授業科目担当者研修会
- ・ 授業評価アンケート

b 実施方法

- ・専任教員研修会は、夏季休暇中に一泊二日の合宿形式で、基調講演、学内教員発表・問題提議、指定討論、ラウンドテーブル、分科会のプログラムで実施している。
- ・ポスターセッションは、授業期間外に日程を設定して、授業実践における工夫や問題点について、学内教員の発表に対して、随時、質疑応答する形式で実施している。
- ・学科別の授業科目担当者研修会は、3月に次年度の担当者打ち合わせ会の日程に合わせて、各学科で授業方法の教育内容・方法のための研修会や公開FDを実施している。
- ・授業評価アンケートは、対象科目の授業中にアンケート用紙を配布し、記入後回収する方法で実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・専任教員研修会は、9月15日と16日に実施し、専任教員（外国人教員を含む）96名、職員31名の合計127名が参加した。
- ・ポスターセッションは、2月29日に実施し、65名が参加した。
- ・学科別授業科目担当者研修会は、3月7日実施の担当者打ち合わせ会に参加した257名を対象に、学科別で実施した。
- ・授業評価アンケートは、春学期には必修科目を中心として6月下旬に、秋学期は選択科目を中心として12月上旬に、全開講科目を対象に実施している。春学期が921科目を対象に916科目（実施率99.5%）で、秋学期は815科目を対象に809科目（実施率99.3%）で実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

専任教員研修会・ポスターセッション・学科別授業科目担当者研修会で検討された事項は、FD委員会を経て、必要に応じて学長の諮問委員会で審議し、答申する方式を取っている。リメディアル教育における学習支援の実施や外国語の学習到達目標の設定等は、この方式により制度化している。

授業評価アンケートについては、集計結果を3週間以内に担当教員にフィードバックし、授業内容や教育方法の工夫・改善を、授業期間内や次年度シラバスに反映できるようにしている。全体の集計結果についてはホームページで公開し、個々の授業科目の受講生にはポータルサイトを活用した「京都外大Web Campus」によりフィードバックし、情報の公開に努めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・対象科目の授業中にアンケート用紙を配布し、記入後回収する方法で実施している。
- ・春学期は必修科目を中心として6月下旬に、秋学期は選択科目を中心として12月上旬に、全開講科目を対象に実施している。2011年(平成23年)度は、春学期が921科目を対象に916科目（実施率99.5%）で、秋学期は815科目を対象に809科目（実施率99.3%）で実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・全体の集計結果については、ホームページ上で公開している。
- ・科目ごとの集計結果については、次のとおり。
 - ①学生は、個々に受講している科目の集計結果をWeb上で閲覧が可能となっている。
 - ②教員は、個々の担当科目の集計結果をWeb上で閲覧でき、その結果に対するコメントを付すことが可能となっている。このコメントについては、学生も閲覧が可能である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、これまで一つの言語に関する専門性と深く結びついている学科を設置してきたが、新しく設置した国際教養学科では、学生が特定の言語・地域に捉われず、国際社会の中で活動することを目的とする。そのため、世界の文化を多角的に理解し、現代の国際社会における課題を学際的な視点から捉えることができる幅広い知識と課題発見、問題解決能力を育成する。

国際教養学科の教育課程は、外国語によるコミュニケーション能力の育成と、地域の文化や社会に関する総合的な研究を重視している。1年次では、専門基礎科目及び専門演習科目において、専門的研究をするための基礎となる知識と技能を身につける。また、総合科目「言語と平和」では、本学の建学の精神である「PAX MUNDI PER LINGUAS 一言語を通して世界の平和を一」が現代社会の重要な課題であることを理解させ、本学で学ぶ基本的姿勢を身につける導入教育のほか、英語以外の外国語を学ぶ。2年次では、専門演習科目・第2外国語科目以外に、専門研究科目として国際地域・国際関係・国際ビジネスの3領域から、段階的に学ぶなど当初計画したカリキュラムに沿って教育を展開した。

国際教養学科の教育課程の運営については、毎月1回定期的に会議を開き、必要に応じて教学部署の職員が参加して、教育課程や授業内容に関する活発な意見交換を行い、その結果を基に学科のリーフレットや紹介ビデオを作成するなどして広報活動を行ってきた。また、平成24年度には、オフ・キャンパス・プログラムとして、学生の「学び」と「実践」を有機的に統合する、リーダーシップのトレーニングを目的とした短期留学、タイのチェンマイ及びアメリカのニューヨークにおけるフィールドワーク、海外インターンシップのプログラムを実施した。

志願者・入学者状況については、本学科の設置趣旨が深く理解され、各入学試験に予想以上に志願者を集めることができ、入学定員60名に対して平成22年度は75名、平成23年度は65名、平成24年度は79名（外国人留学生1名を含む）の入学者があった。

学生と教員、職員が協同して、この新しい国際教養学科を完成年度に向けてより充実したものにすため、毎月1回ランチミーティングを企画し、平成22年度と平成24年度で計14回実施した。毎回テーマ設定して学生の意見を直接聴取し、授業改善に繋げた。

開設して3年目であるため、設置の趣旨・目的の達成度を測ることが困難な事項が多いが、これからの将来に向け、2012年度より副学科長を置き、さらに充実を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成24年7月末日予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書「アカデミックレポート」を毎年刊行し、CD-ROM版を日本私立大学協会加盟大学及び京都地区の全大学に送付、専任教員全員に配布。冊子版を学内全部署に配布、学生閲覧用として図書館に設置。

・本学ホームページ上に、平成24年8月上旬公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

・平成21年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受け、「適合」と認定された。

次回は、平成28年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で準備中。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (2012 年 6 月 30 日)

京都外国語大学 F D委員会規程

(平成20年3月22日制定)

(目的)

第1条 京都外国語大学（以下「本学」という。）学則第20条に基づき、本学の教育活動の質的向上と発展を図るため、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(委員会の任務)

第2条 委員会の任務は次のとおりとする。

- (1) 全学のFD活動の企画・実施に関する事項
- (2) 全学のFD活動の評価に関する事項
- (3) 学科等が行うFD活動の支援に関する事項
- (4) 授業評価アンケートの実施に関する事項
- (5) 授業評価アンケート結果の管理・フィードバックに関する事項
- (6) FD活動及び授業評価アンケートに関する情報の収集と提供
- (7) FD活動に関連する他の委員会等との連携に関する事項
- (8) その他、FD活動及び授業評価アンケートに関する事項

(構成)

第3条 委員会は、学長の委嘱により、次の委員をもって構成する。

- (1) 副学長
- (2) 専任教員から数名
- (3) 事務職員から数名

(委員の任期)

第4条 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長、副委員長、書記)

第5条 委員会に、委員長、副委員長及び書記を置く。

- 2 委員長は、学長がこれを委嘱する。
- 3 副委員長及び書記は、委員長がこれを委嘱する。

(委員以外の者の扱い)

第6条 委員長は、必要と認めたとき、委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

(議長)

第7条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を行う。

(委員会の成立要件)

第8条 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席委員の過半数をもって可否を決する。可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(小委員会)

第9条 委員会が必要と認めるときは、小委員会を設けることができる。

2 小委員会の構成等については、委員会が定める。

(報告)

第10条 委員長は、必要に応じてFD活動の内容・経過等について学長、学科長会議、大学教授会又は専任教員連絡会議に報告する。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃については、委員会の議を経て学長がこれを行う。

(所管)

第12条 委員会の事務は、教務部が各部署と連携してこれを行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

(平成24年3月17日改正)